

介護士新人教育プログラム

令和6年改訂

未経験 資格あり		1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月		
資格あり		1ヶ月		2ヶ月		3ヶ月			4ヶ月		5ヶ月		6ヶ月		
中途		1ヶ月													
項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
業務目標		職場環境に慣れる	部屋担当が出来るようになる		遅出業務、ショート業務が出来るようになる。 午後出、早出ができるようになり、全体の業務の流れが把握できる		受け持ち介護士として役割が実践できる				指導の下夜勤業務が出来る				
		日勤業務の流れを					受け持ち介護士としての役割を理解する					一人で夜勤業務が出来る			
習得目標		・マニュアルをもとに、各ケアの目的を把握できる。	・看護記録をもとに、部屋ごとの情報収集ができ、記録が出来るようになる。 ・患者の個々の状態に応じたケアが出来るようになる		・急変時やエンゼルケアが出来るようになる		・担当患者のプラン作成が出来るようになる		・強み・弱みを把握し、ともに目標達成に向けて評価しながら自立を目指す		・目標が達成できる				
目標	排泄	・排泄介助の目的が理解できる ・おむつ交換方法とパットの種類を知る ・プライバシーの配慮が出来る	・トイレ誘導方法を知り、トイレ介助を行なうことが出来る	・個々のADL状態に応じた排泄用品を選択することが出来る ・軽介助者のおむつ交換を一人で行なうことが出来る	・日中の個々の患者にあわせたおむつ交換が出来る。	・個々の排泄パターンにあわせた排泄ケアができる	・担当患者の排泄状況を理解でき個別ケアを行なうことが出来る	・患者の気持ちを配慮し、一人一人に合った排泄ケアを行なうことが出来る ・皮膚の状態、排泄の間隔・性状など観察でき、報告することが出来る					・個々に合った排泄のメカニズムを理解でき率先して排泄ケアが行なえる		
	清潔	・入浴、手浴足浴、清拭、口腔ケア、爪切り、髭剃りの必要性、方法を理解できる	・爪切り、髭剃り、手浴足浴が一人で出来る ・他のスタッフと一緒に清拭、入浴介助が出来る	・指導を受けながら入浴介助が行なえる(準備、片付けまで) ・患者の状態に合わせた口腔ケアが出来る	・安全留意しに入浴の送迎、介助が出来る	・介助、機械浴ともにすべて進んで介助を行なうことが出来る	・担当患者のADLの状態を観察し、状態に合わせた清潔、入浴介助方法を検討し実施することができる(指導の下)	・個々の患者の障害を理解し、個別的な清潔、入浴介助が出来る				個々の患者の状態に合わせた清潔介助が出来る			
	食事	・食事援助の目的、必要性を理解できる ・配膳、下膳、片付けの方法を覚える ・おしぼり、配茶の準備が出来る	・嚥下体操の目的方法を覚え指導も行なえる ・食形態が把握できる ・軽介助者の食事介助が出来る	・個々に合った食事介助の方法を理解できる ・水分補給の目的を理解し介助できる ・嚥下体操が一人で出来る	・嚥下障害のある患者を把握し、食事介助することが出来る ・内服の説明を受け、与薬することができる	・個々に合った食形態を覚え観察しながら食事介助を行うことが出来る。	・咀嚼、嚥下、食事の体位など身体構造、動き、役割を理解し個々にあった食事介助が出来る					嚥下状態の観察を行ないながら、周りの患者にも目をむけ、個々に応じた食事介助が出来る			
	移動	・車椅子やベッドの移乗方法を見学する ・車椅子の種類、内容を覚える ・腰痛予防について把握できる	・他のスタッフと一緒に移乗介助を行い、方法を身につける	・軽介助者の移乗介助が一人で行なえる ・個々のADLに応じた移乗方法を理解し、スタッフと一緒に行なえる	・全ての利用者の移乗、移動が出来る	・ボディーメカニクスを理解し、安全安楽に移乗介助を行なうことが出来る	・担当患者のADLの状態を観察し、状態に合わせた移乗方法を検討し実施することができる(指導の下)	・個々の患者の障害を理解し、個別的な移動が出来る				・残存機能を理解し、患者様に苦痛のない移乗介助が行なえる			
	環境整備	・環境整備の目的の必要性を理解できる ・シーツ交換、ベッド、床頭台清掃の方法を学ぶスタッフと一緒に行なえる	・指導の下シーツ交換、環境整備が出来る(準備、片付けまで)	・自ら進んでシーツ交換、環境整備が行なえる(準備、片付けまで)	・マットの種類を覚える ・感染に留意した環境整備が行なえる	・病棟全体の生活環境を意識し環境整備、整理整頓が行える	・担当患者の生活環境に配慮した環境整備が行える	・自ら病棟全体の環境整備を意識し、率先して環境整備が行なえる				・全体の環境整備に努め実践できる			
	記録・ケアプラン	・記録、ケアプランに何が書いてあるのか知る ・記録やケアプランの目的、必要性、方法を理解できる	・記録、ケアプランから情報収集することが出来る(指導の下) ・実施したことを記録に残すことが出来る(指導の下)	・自ら情報収集することが出来る ・観察したこと、実施したことを記録に残せる	・分かりやすい記録を書くことができる	・ケアプラン立案までの流れを把握する	・担当患者を通し、指導者とともにケアプラン立案までを行なうことが出来る ・SOAPを理解し、正しい記録が書ける	・ケアプランを立案することができ、アセスメント、モニタリングが行なえる				・一人で受け持ちを持つことができる			
	知識・役割	・介護士の役割が分かる ・社会人としてのマナーを身につける ・病棟の仕事、流れを理解できる	・患者のADLが把握できる ・病棟の特徴、制度を学ぶ	・事故防止について理解でき、報告書への記入が出来る	・緊急時の対応を学び、観察ポイントが分かる ・NsN補助が行なえる	・緊急時の対応を理解し行動に移せる	・研修に参加し、知識の習得を習得し、事故学習に取り組むことが出来る	・根拠を持った介護が出来る ・観察し、判断し行動に移すことが出来る				・介護士としてのやりがいを持ち、自ら率先して動けるようになる			
指導教育計画	業務(OJT)	一日の流れ、日勤業務の説明指導	早出、遅出、超遅出の業務の説明指導	午後出、ショート業務の説明指導	部屋担当業務の説明指導	夜勤業務の説明指導	受け持ち担当の役割の説明指導								
	技術・ケア(OJT)	各項目の目的、必要性、方法を指導(マニュアルに沿って)	基本的な介護技術の確認と指導	個別ケアについての説明											
		各介助方法を実際に見学してもらい指導													
		ケア用品の取り扱いについての説明	排泄用品、自助具、福祉用具についての説明												
	記録・ケアプラン(OFF OJT)	記録やケアプランの目的、必要性、見方について説明	記録の書き方の説明	情報収集の仕方について説明指導			ケアプランの流れの説明	ケアプラン立案・モニタリング、アセスメントを一緒に行なう							
	知識・役割(OFF OJT)	接遇指導	介護保険制度の説明	医療安全、報告書の書き方の説明	急変時の対応の教育	研修参加の目的、報告などの指導									
教育研修	院内研修	金曜勉強会・時間外勉強会・ケアワーカー勉強会の参加(別紙年間計画参照) ※学んだことをレポートとしてまとめる													
	部署研修	病棟勉強会の参加(別紙年間計画参照) ※学んだことをレポートとしてまとめる													
	院外研修・自己学習														
新人介護士・介護行為チェック表の到達度		A 30%以上			B 70%以上			A 50%以上			B90%以上			A 70%以上	A 90%以上
評価・フォローアップ		毎日日誌にて振り返りを行う	面談	チェック表の提出 評価・面談			チェック表の提出 評価・面談					チェック表の提出 評価・面談			